

2022年7月13日 大学自己点検・評価委員会

2022年7月21日 大学評価委員会

2022年7月23日 理 事 会

2021年度 関西外国語大学 自己点検・評価活動まとめ

大学自己点検・評価委員会

2021年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」とする）による危機に対し理事長のリーダーシップの下、全学を挙げて適切な学生支援を行うとともに、新カリキュラムのスタート、新学部・新学科の設置構想等新たな改革に向けた施策が着実に推進され、必要な改善・向上が図られた。

自己点検・評価活動にあつては、「2021（令和3）年度 事業計画」に掲げた以下13項目にわたる全学的課題も踏まえ、各部局において設定した課題の進捗に対し自己点検・評価を実施した。

ここに、2021年度の関西外国語大学 自己点検・評価活動まとめとして、各学部学科、センター・研究所、事務部門からの報告を集約した内容を報告する。

<2021（令和3）年度 事業計画（抜粋）>

- (1) 新型コロナ対応—逆境は改革の好機—
- (2) 「関西外国語大学 ビジョン・中期計画」の推進
- (3) 組織の更なる改革
- (4) 学修者本位の教育の質向上
—どこでも生きていける“逞しく品格ある人物の育成”—
- (5) 国際交流改革の推進
—学生の個性を活かすオンリーワンの国際教育と多様な留学—
- (6) 学修生活支援体制の整備
—学生ファーストの視点—
- (7) 校地・校舎の整備
- (8) 広報戦略の見直し
- (9) 就職支援強化による出口保証
- (10) 利用者サービスの向上、及び事務効率化のため、引き続き情報環境整備
- (11) 社会貢献・連携
- (12) 株式会社関西外大 ICC の事業活発化
- (13) 同窓会の活動を支援し、志願者増加と就職先拡充

<2021年度の各部局における課題に対する取組み(概要)>

大学院研究科、大学各学部の学科自己点検・評価委員会及び部局別自己点検・評価委員会から報告された2021年度の各部局における設定課題に対する実施状況等の状況は、次の通り。

○大学院

- ・2022年度開設の博士前期課程言語文化専攻「国際共生コミュニケーション」コースの3ポリシー策定
- ・同コース開設に向けた教員配置決定
- ・大学院入学者確保に向けた「関西外国語大学大学院主催英語教員のための夏期リフレクチャー講座」の見直し
- ・大学院入学者確保に向けた「関西外国語大学大学院高度専門職業人育成奨学金規程」の周知徹底
- ・博士前期課程のカリキュラムマップの作成

○各学部・学科

- ・英語キャリア学部における専門留学生の比率向上施策の検討、学修成果レーダーチャートの有効性の再確認
- ・英語キャリア学部ゲストスピーカー制度において一定の成果
- ・小学校教員コースにおける短期留学制度等英語教育の専門性向上に向けた施策検討
- ・外国語学部4コース改編と教育課程に関する議論実施
- ・英語国際学部新カリキュラムの周知徹底による春学期比履修者数増加
- ・英語国際学部教育課程上の留学派遣再開の決定
- ・留学生別科オンライン対応と双方向交流型授業(COIL=Collaborative Online International Learning)の実施

○各委員会

- ・大学入学共通テストの新たな利用入試に向けた環境整備
- ・コロナ禍での課外活動、学友会活動等支援、オンラインを活用した学生相談機能充実
- ・SDGsをテーマとした海外協定校とのオンラインプログラムのシリーズ化による学生の関心向上
- ・海外協定校とのオンラインを通じた情報交換等の充実による職員の意識改革の促進
- ・FEP(Future Engagement Program)の本格稼働に向けた環境整備の推進
- ・オンライン授業の質的向上を図るFD

○研究所、センター

- ・「Learning Village」に加え「KGU Conqueror」の実施による授業外学習の活性化
- ・IRI主催連続公開講座のハイブリッド形式開催により、過去最多の延べ視聴数を達成(同バロア研究センター)
- ・コロナ禍における教育実習代替措置、教員採用試験支援対策による実績の大幅増

○事務部門

- ・ガバナンスコード策定等規程整備、事務効率化・システム化、マニュアル整備等実施
- ・コロナ禍における社会連携の積極的な推進
- ・新学部・新学科設置に向けた人材確保及び教員採用
- ・業務効率化及び御殿山キャンパスとの一体運用を目的とした事務組織の改編
- ・職員研修制度充実（SD 活動、新人育成プログラム、オンライン研修対象の拡大）
- ・中宮キャンパス大規模改修工事、LED 照明活用、空調監視制御システム更新
- ・Web ページのリニューアルによるコンテンツのカテゴリー化・重点化等効果的かつ機能的な情報発信を実現
- ・質保証システムの着実な運用、IR 活動の課題整理
- ・オンライン支援ツールの定着並びにフロント業務 DX 化等 BPR の着実な推進
- ・kintone を基幹とした各種プラグインのアプリ化による奨学金業務の効率化
- ・コロナ禍における学生相談体制改善
- ・留学生派遣・受入に係るプロモーション強化による留学生別科ブランド力の向上
- ・GLOBAL COMMONS 結—YUI—における RA 能力の向上施策推進
- ・梅田キャンパスにおける機能的な便宜供与の実現、進路選択多様化に向けた活動充実
- ・編入・就職ガイダンス・業界研究会等のオンライン対応
- ・情報利用環境における更新リプレース完了、情報セキュリティ関連規程整備、セキュリティ対策ツール試行運用開始
- ・研究活動支援強化（科研「若手研究」申請支援、科研申請支援サービス検討等）

以 上